

4 フィルタケースメント・高性能フィルタエレメント

1

YAES・T-B形用
形名：PAC-SE71・
72AF

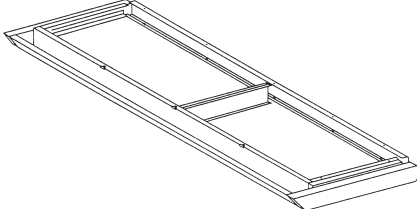
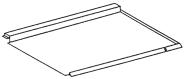
1. 適用機種

フィルタエレメントは、下記形名のものを別途手配ください。

	フィルタケースメント形名	フィルタエレメント(別途手配)
		高性能フィルタエレメント形名
J71形	PAC-SE71AF	PAC-SE91KF
J140形	PAC-SE72AF	PAC-SE92KF

*フィルタエレメントは使い捨てです。

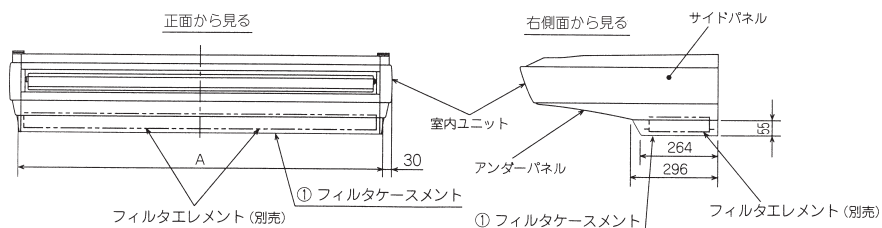
2. 付属部品

①フィルタケースメント	②ネジ(4×10)	③配管部仕切り板
		
×1	×10	×1

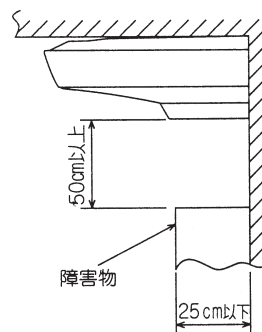
3. フィルタケースメント取付け状態図

(単位mm)

	A
J71形	1250
J140形	1557



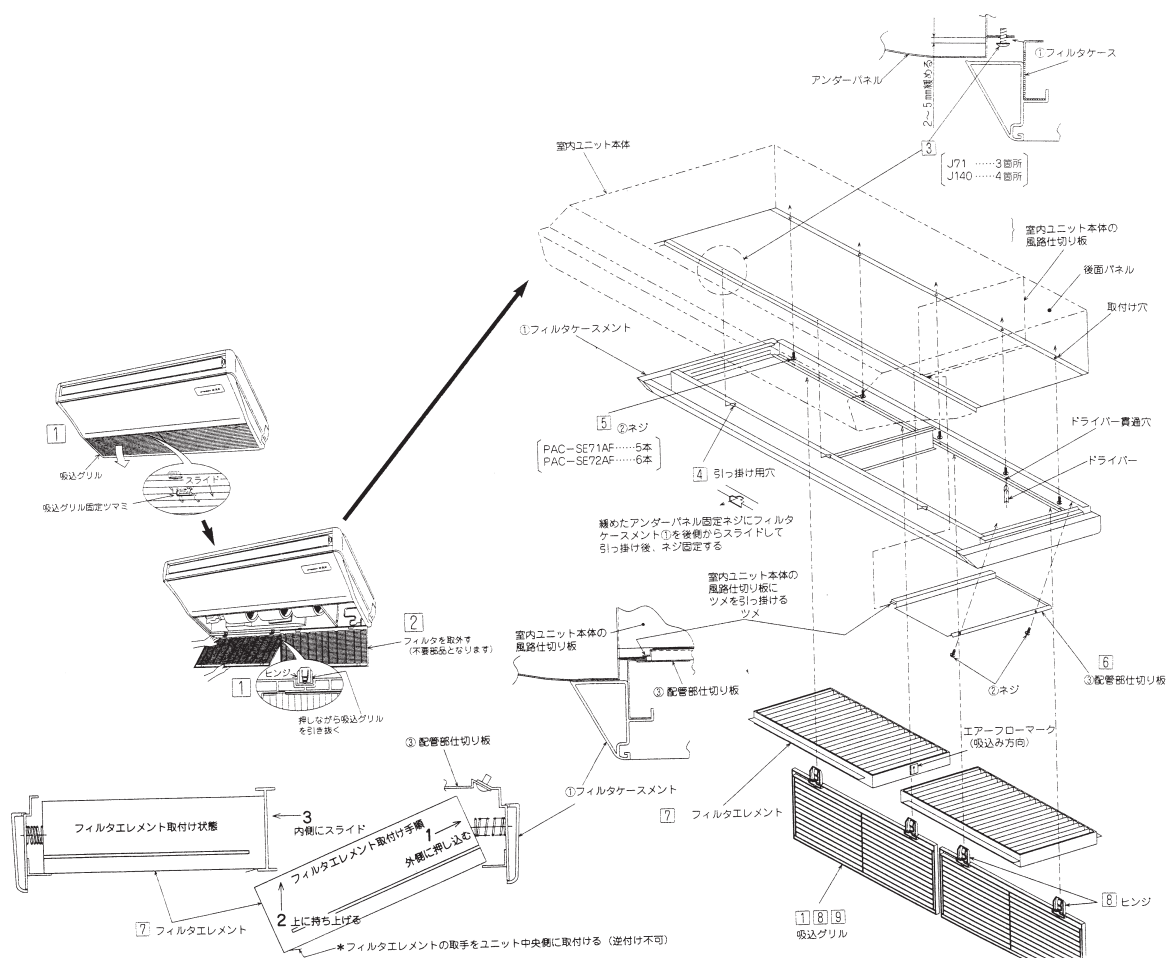
サーブスペース
・吸込口の下側に障害物がある場合は、
右図寸法を守ってください。



4. フィルタケースメント取付け要領

- ・室内ユニットを据付け(配管・配線工事含む)た後にフィルタケースメントを取付けてください。
- ・説明は室内ユニットを据付けた後に、フィルタケースメントを取付ける場合を表しています。

- (1) 室内ユニットの吸込グリルを取外す
- (2) 吸込グリルに取付けられているフィルタ(不要部品となります)を取外す
- (3) 室内ユニット吸込口側のアンダーパネル固定ネジを2~5mm緩める
- (4) フィルタケースメント①を上記アンダーパネル固定ネジに引っ掛けてネジ締め固定する
- (5) フィルタケースメント①を付属ネジ②で室内ユニット後面パネルに固定する
- (6) フィルタケースメント①に付属の配管部仕切り板③を付属ネジ②で固定する
- (7) フィルタエレメント(別売)を取付ける
- (8) フィルタケースメント①の角穴に吸込みグリルのヒンジを挿入して取付ける
- (9) 吸込みグリルを閉じる



5. 風量アップの設定(高性能フィルタエレメント取付の場合)

高性能フィルタエレメントを取付けた場合、風量アップの設定を行なう必要があります。風量の設定をしない場合、風量が低下し、能力の低下、及び露タレなどが発生するおそれがありますので必ず行なってください。

●P6-14『6.システム制御・4.リモコンによる機能選択』を参照し設定してください。

6. 試運転

室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。

★試運転により、振動やビビリ音などの異常音がないことを確認してください。

【試運転方法】

- 1) 電源を入れる
- 2) リモコンの 試運転 ボタンを2度押す
- 3) リモコンの 運転切換 ボタンを押して送風にする
*ファンが回転して送風を行ないます
- 4) 正常に運転するか確認する
- 5) リモコンの 運転／停止 ボタンを押して試運転を解除する
- 6) 電源を切る

7. フィルタエレメントについて

フィルタエレメントは使い捨てです。

据付け環境により若干異なりますが、1年に1回の目安で交換くださるよう、お客様に説明してください。

	フィルタエレメント(別途手配)
	高性能フィルタエレメント形名
J71形	PAC-SE91KF
J140形	PSC-SE92KF

フィルタエレメントは、2ヶ(1台分)入りです。

4 フィルタケースメント・高性能フィルタエレメント

2

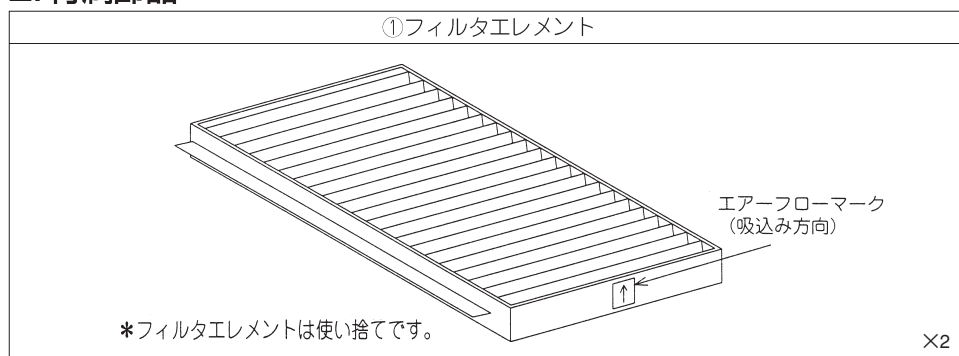
YAES・T-B形用
形名：PAC-SE91・
92KF

1. 適用機種

形 名	適用機種
PAC-SE91KF	J71形
PAC-SE92KF	J140形

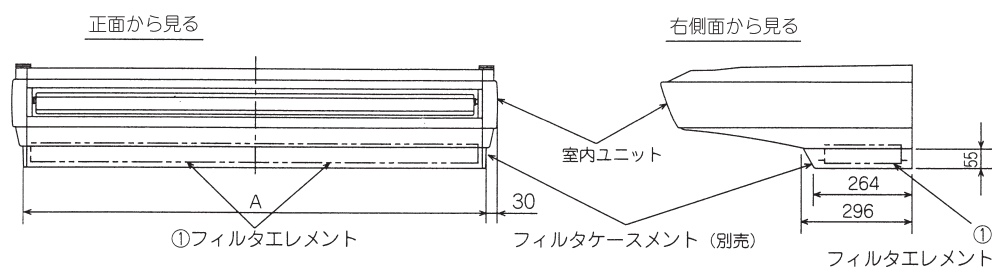
*高性能フィルタエレメントを取り付ける場合は、別売品のフィルタケースメントが必要です。

2. 付属部品



3. フィルタエレメント取付け状態図

(単位mm)

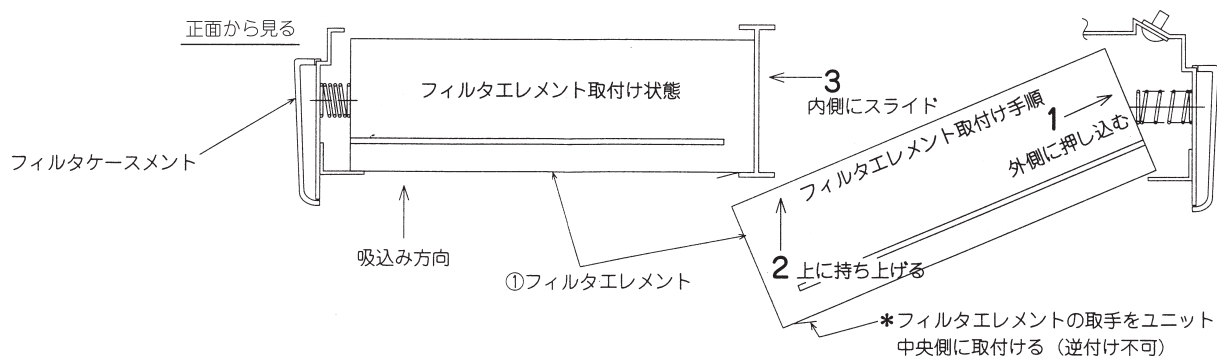


	A
J71形	1250
J140形	1557

4. フィルタエレメント取付け要領

下図に従いフィルタエレメント①を取付けてください。

＊吸込グリルをフィルタケースメントから取外すと作業が容易にできます。



5. 風量アップの設定(高性能フィルタエレメント取付の場合)

高性能フィルタエレメントを取付けた場合、風量アップの設定を行なう必要があります。風量の設定をしない場合、風量が低下し、能力の低下、及び露タレなどが発生するおそれがありますので必ず行なってください。

●P6-14『6.システム制御・4.リモコンによる機能選択』を参照し設定してください。

6. フィルタエレメントについて

＊フィルタエレメントは使い捨てです。

据付け環境により若干異なりますが、1年に1回の目安で交換くださるよう、お客様に説明してください。